

同時化学放射線療法に関する患者さんの 情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター産婦人科では、「同時化学放射線療法における予防的マグネシウム投与の腎保護作用についての後方視的検討」を行うことになりました。

この研究の目的は、同時化学放射線療法においてシスプラチンを投与した患者さんの腎機能の結果を調べて、予防的に投与するマグネシウム製剤がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2013年6月1日より2020年7月末までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは子宮頸癌で同時化学放射線療法を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、身長、体重、血液検査など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2021年5月

研究責任者

東京医療センター 産婦人科 山下博

連絡先 03-3411-0111(代表)